基本目標３　地域社会とのつながりを実感し、誰もが社会参加できるまち（仕組みづくり）

施策の方向７　立ち直り（再出発）に寄り添い・支え合う地域づくり【再犯防止推進計画】

現状と課題

- 犯罪をした人の中には、出所後、住居や就労先がないなどの理由から、再び犯罪に手を染める人が多くなっています。犯罪や非行をした人の社会復帰を支援し、保護司等の関係機関と連携しながら再犯防止及び非行の未然防止の取組を推進する必要があります。

取組方針

- 保護司をはじめとした民間協力者、関係機関などと連携しながら、再犯防止対策に取り組み、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進します。
- 経済的・社会的な自立に向けた相談から一般就労に繋げるため、ハローワーク等支援機関との更なる連携、就労先等の開拓に取り組みます。
- 更生保護について認知度を向上させるために、啓発を目的としたイベントを実施するなど、周知を行います。
- 犯罪や非行をした人などが、地域社会の中で孤立することなく、生活の安定が図られるよう個々の主体性を尊重し、それぞれが抱える課題に応じた息の長い支援に取り組みます。

達成された姿

関係機関が相互に連携・協力して支援することで、犯罪や非行をした人が地域社会とのつながりを実感し、安心・安全・快適に暮らすことができている。

誰もが地域社会とのつながりを実感し、社会参加をしながら自分らしく生活することができています。

主な取組

１　立ち直り（再出発）に向けた支援

- ○　経済的・社会的な自立に向けた就労に関する相談支援事業の充実
- ○　居住支援協議会との連携による居住確保の支援

２　犯罪や非行をした人に対する理解促進

- ○　理解の促進に向けた普及啓発活動や犯罪予防活動の実施
- ○　地域住民を含めた「社会を明るくする運動」の実施

３　保護司や関係機関と連携した再犯防止の推進

- ○　保護司などの民間協力者や関係機関と連携した犯罪や非行の未然防止のための啓発活動
- ○　保護司などのなり手不足解消に向けた啓発活動
- ○　保護司、更生保護女性会などの活動支援
- ○　更生保護サポートセンターの運営支援
- ○　協力雇用主登録の周知・啓発

４　学校、教育委員会と連携した非行の未然防止の推進

- ○　青少年相談員や社会教育指導員による街頭指導
- ○　飲酒・喫煙・薬物乱用や非行の防止に関する啓発活動

主な指標

目標値

	指標 ＼ 年度	令和７（2025）年度	令和９（2027）年度	令和10（2028）年度	令和11（2029）年度	令和12（2030）年度	令和13（2031）年度	令和14（2032）年度
取組指標	講座や研修会での保護司の活動の周知人数	―	20人	25人	30人	35人	40人	45人
取組指標	社会を明るくする運動メイン行事の啓発物品配布数	1,000人	1,100人	1,200人	1,300人	1,400人	1,500人	1,600人
成果指標	厚木警察署管内の再犯者数	―	105人	103人	101人	99人	97人	95人